

地域看護学展開論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

地域で生活する人々の発達段階および健康課題に対応した保健活動の特徴について学び、母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害者対策、難病対策、感染症対策および災害対策等における保健活動の展開方法を理解する。そして、健康課題を解決するための保健活動の課題についても学修する。また、学校保健や産業保健における保健活動の特性を理解し、それぞれの場の特徴と保健活動の展開について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

地域で生活する人々の健康課題を発達段階および疾病対策ごとに理解できる。そしてそれぞれに対応して展開される保健活動の意義と内容について法制度を踏まえ理解することができる。学校保健および産業保健の場における健康課題と保健活動の展開について理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 地域における心身の健康増進や障害者の生活を支えるシステムについて説明できる。
2. 保健・医療・福祉における課題（生活習慣病、母子保健、児童福祉、学校保健、成人保健、産業保健、高齢者の保健・医療・福祉制度、認知症、障害児・者施策、精神保健、歯科保健、感染症、がん、難病等）の動向と対策について説明できる。
3. 地域における保健活動の展開方法の特徴、今後の課題が説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/16	火	4	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	母子保健における課題と保健活動① <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・子どもの発達への支援方法を説明できる
6/18	木	3	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	母子保健における課題と保健活動② <ul style="list-style-type: none"> ・支援ニーズの高い親子への支援方法が説明できる。
6/22	月	4	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	成人保健（生活習慣病対策）における課題と保健活動 <ul style="list-style-type: none"> ・成人期の人々の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・成人期の人々の健康への支援方法を説明できる
6/25	木	4	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	高齢者保健（介護予防等）における課題と保健活動 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の人々の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・高齢期の人々の健康への支援方法を説明できる

6/30	火	3	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	<p>精神保健・障害者対策および難病対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害のある人々の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・ 地域の精神保健における健康課題と対策を説明できる ・ 難病療養者の健康課題と対策を説明できる ・ 多機関が連携した支援システムの構築について理解できる <p>【事前課題】 障害者総合支援法によるサービス体系を復習しておく</p>
7/2	木	3	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	<p>歯科保健に関する課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる <p>【事前課題】 歯の成長と歯の疾患（う蝕、歯周病）を復習しておく</p>
7/7	火	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>感染症対策および災害対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症における健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・ 感染症に罹患している人々の生活障害の特性や課題に応じた支援方法を説明できる ・ 災害時における健康課題と平常時の災害予防対策を説明できる <p>【事前学修】 感染症の動向と感染症の種類（感染症法に基づく分類）を復習しておく</p>

7/9	木	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>学校保健・産業保健における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康課題に対応した支援方法を説明できる ・職域における健康問題に対応した支援方法を説明できる ・地域保健、学校保健、産業保健の連携・協働を説明できる <p>【事前学修】 学校保健、産業保健における健康課題を復習しておく</p>
-----	---	---	----------	-------------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	国民衛生の動向 2019／2020	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2019
教	公衆衛生看護学.jp 第5版	荒賀直子 他編	インターメディカル	2020
参	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版	松田正巳 他	医学書院	2017
参	公衆衛生看護学第2版	上野昌江 他編	中央法規	2016

・成績評価方法

定期試験 80%および課題レポート 20%の合計 100%で評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容及び到達目標を確認し予習した上で授業に臨むこと。また講義中に提示した予習ポイント・課題を学修して臨むこと。事後学修は、本科目指定の教科書だけでなく、授業内容に関連した履修済の教科書や配布資料、ノート等を用い復習すること。適宜、講義中に事前学修の発表時間を設ける。事前事後学修時間は各回最低 30 分を要する。

グループワークではそれぞれのテーマに沿って事前学修を行い臨むこと。グループワークを行う授業では事前学修は最低 1 時間を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・授業に課題を課す場合は、期日までに Webclass で回収し、授業等でフィードバックする。

・レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論

助産師（別表 2）：基礎助産学

看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影